平成３０年度　第１回　行財政改革審議会　会議概要

開催日時　平成３０年５月１０日（木）　１４：３０～１６：１０
場所　四街道市役所本館３階　第２委員会室
出席委員　鈴木委員、中村委員、小澤委員、田中委員、伊藤委員
丸岡委員、小川委員、安井委員、笹原委員
欠席委員　上田委員
事務局　総務部：植草部長、齋藤次長
行革推進課：森山課長、齊藤課長補佐、古川主査補、髙羽主事
傍 聴 人　０名

会議次第

１．開　会
２．会長あいさつ
３．部長あいさつ
４．議　題
（１）第８次四街道市行財政改革推進計画（案）の策定について
（２）四街道市行財政改革の推進に関する提言について
５．その他
６．閉　会

議事

議題（１）第８次四街道市行財政改革推進計画（案）の策定について

事　務　局　（資料説明）
鈴 木 会 長　何か質問、意見等はあるか。
笹 原 委 員　現在の経常収支比率が９９．７％ということだが、１５頁に掲載がある１７項目の計画を実施することにより、どの程度改善が見込めるのか。
事　務　局　９５％程度を目標に策定するように考えているが、事務局としては、初年度からは難しいとしても、年を経過するごとにその目標に近づけるよう策定を行っている。
小 川 委 員　その９５％に持っていくためには、歳入増加と歳出抑制の両面の取組が必要になると思われる。今回の原案では歳入増加に関する項目は全１７項目中４項目しかなく、少ないと感じている。例えば産業振興による税収増加などは項目として検討できないか。
事　務　局　市の総合計画においては、企業誘致を掲げているので、本計画では項目としていない。
鈴 木 会 長　現状の喫緊の課題である経常収支比率の低下に向けては、短期的に効果がある歳出削減が重要であると思う。産業振興による税収増加は確かに大切な視点であるが、効果が出るまでに長時間かかってしまう。
安 井 委 員　経費節減は毎年尽力している部分であると思うので、歳入増についてもう少し言及

しても良いのではないか。

鈴 木 会 長　今回の策定に当たっては、経常収支比率が９９．７％という危機的な状況であるので、それをいかに脱するかという市の意向が含まれている。もちろん歳入増は大切であるが、それはとても時間のかかることである。

笹 原 委 員　ふるさと納税による税収増や税収減はどのくらいか。

事　務　局　平成２９年度決算見込みで、約５６４万円の寄付があり、寄付の１１％が運営業者への委託料となることから、差し引きで約５００万円の税収増である。一方で、税収減に関しては、各寄付者の手続方法にもよるが、税部門からの情報では約６千万円の流出がある。

鈴 木 会 長　ふるさと納税で税収増は難しいと思われる。

小 川 委 員　他市の状況を見ると、産業の活性化は有効な策であると思う。

事　務　局　最近は物井地区の商業地区に民間業者が進出している。しかし、市で誘致となると、市の所有する広大な土地が必要であるが、まとまった土地がない状況である。

鈴 木 会 長　企業誘致に関するプロジェクトチームはあるのか。企業誘致で増収を狙う計画は活発ではないのか。

事　務　局　企業誘致に関する認識はあるが、プロジェクトチームは特にない。

鈴 木 会 長　企業誘致に関しては、テーマとして一回議論してみる必要があるかもしれない。増収に関して何か動いているということが示せないと、支出の削減だけでは市民からの不満も募るだろう。

安 井 委 員　歳出削減に関しては毎年行っているので、増収策もお願いしたい。

鈴 木 会 長　まずは９９．７％という状況を脱するため、歳出の削減から進めなければならない。増収策では市税収入は頭打ちである。売却可能な市有地はあるのか。

事　務　局　例えば市役所第三駐車場など、利便性の高い土地については、売却による増収が見込める。

田 中 委 員　市の代表的な施設等に係る土地については、あまり売却しないほうがいいと思う。

鈴 木 会 長　そうなるとやはり、増収は難しい。歳出削減を慎重に行っていくしか方法はない。他に意見はあるか。

笹 原 委 員　１０頁について、職員数には臨時職員を含んでいるのか。

事　務　局　含んでいない。

笹 原 委 員　臨時職員に係る賃金は物件費に含まれると思うが、物件費の中でどれくらいの割合を占めるのか。

事　務　局　２億４千万円程度である。

鈴 木 会 長　再任用職員についてはいかがか。今後増える可能性はあるのか。

事　務　局　再任用職員の給与に関しては人件費に含まれるが、職員数にはカウントしていない。理由としては、短時間勤務の職員もいるため同じカウントができないからである。今後、市制施行前後に入庁した職員の大量退職が予想されることから、向こう数年間は増加する見込であるが、定年延長の施策が施行されることから、徐々に減少していくことが予想される。

安 井 委 員　７頁について、財政調整基金とはどのように積み立てや取り崩しを行っているのか。

また、次期ごみ処理施設等の建設に利用されるのか。

事　務　局　財政調整基金については、標準財政規模の１０％～２０％の範囲内を維持するように、積み立てや取り崩しを行っている。次期ごみ処理施設の建設に当たっては、廃棄物処理施設建設の基金や地方債を活用する予定である。

笹 原 委 員　９頁の公共施設について、ファシリティマネジメントが導入されて何年か経過しているが、効果は出ているか。

事　務　局　公共施設の総合管理計画を２８年３月に策定後、再配置計画を策定中であり、効果については今後現れる予定である。

笹 原 委 員　指定管理者制度の費用対効果はどのようになっているか。

事　務　局　直営より指定管理者制度を導入したほうが、運営経費も安価に抑えられるうえに利用者の満足度も高く、費用対効果があると考えている。各施設により状況が異なるため、具体的な数字は現時点では示すことは出来ない。

鈴 木 会 長　次回の審議会時に、指定管理者制度に関する費用対効果のデータについて、事務局は用意しておくようにお願いする。他に意見等はあるか。

中 村 委 員　３頁の人口推移において、年齢不詳とはどのような意味か。

事　務　局　国勢調査においては詳しいデータを聴取できない場合があり、年齢が聴取できなかったデータについては年齢不詳で集計を行っている。

鈴 木 会 長　他に意見はあるか。

各　委　員　（意見等なし）

鈴 木 会 長　ないようなので、第８次四街道市行財政改革推進計画（案）の策定について、資料のとおり承認してよいか。

各　委　員　（異 議 な し）

議題（２）四街道市行財政改革の推進に関する提言について

鈴 木 会 長　第８次四街道市行財政改革推進計画（案）について審議を頂いたが、四街道市の現在の財政状況が極めて厳しい状況であることから、本推進計画の策定及び取組が着実に実行されるよう、審議会から四街道市に対し提言をしたいと考え、提言の案をまとめさせていただいた。事務局より説明する。

事　務　局　（資料説明）

鈴 木 会 長　この提言について、何か意見等はあるか。

田 中 委 員　子ども医療費の自己負担についての提言には反対である。

鈴 木 会 長　四街道市の状況や、他市の状況を見ると、負担をお願いする時期に来ているのではないか。

安 井 委 員　子育て世代の医療費を市が負担しているのは、むしろ不公平である。

鈴 木 会 長　低所得世帯については引き続き補助されることも考えられる。こうした負担も求めていくという方向性である。

丸 岡 委 員　どのくらいの負担になるか。

事　務　局　本市では現在、子ども医療費は無料であるが、自己負担を導入する場合、自治体により基準は異なるが、一般的には１回の診療に対し２００円～３００円程度の負担を頂いている。

田 中 委 員　それで本当に効果があるのか。

鈴 木 会 長　それでも効果は見込まれると思う。

田 中 委 員　了解した。

鈴 木 会 長　具体的にどのくらいの効果額が出るかは、次回以降の審議会で示していただきたい。他に意見はあるか。

田 中 委 員　提言の２と４については、ともにスクラップアンドビルドについて述べた同趣旨の項目であるが、漫然と前年踏襲している事業がまだまだあると思われるので、例えば毎年２事業ずつ削減していく等、大胆な対応が必要ではないか。

鈴 木 会 長　市に提言し、行財政改革推進計画については市側で精査してもらう。提言の方向性としては、このような形でよろしいか。

各　委　員　（意見等なし）

鈴 木 会 長　意見等がないようなので、この提言について本日市に提出したいが、いかがか。

各　委　員　（異議なし）

事　務　局　市長に受け取りいただきたいので、在席を確認させていただきたい。

-在席確認-

事　務　局　市長は不在であるが、副市長が在席されていたので、副市長へ提出いただきたい。

鈴 木 会 長　了解した。

-副市長来室-

事　務　局　副市長が到着されたので、会長より提言をお願いする。

鈴 木 会 長　第８次行財政改革推進計画において、効率的・効果的な行財政運営の早期実現に向け、本提言の視点を活かし、実効性のある計画策定をお願いしたい。

副　市　長　この提言を真摯に受け止め、第８次行財政改革推進計画に提言の視点を活かし、行財政改革を推進する。

鈴 木 会 長　よろしくお願いしたい。

-副市長退室-

その他

事　務　局　次回の会議は８月２日木曜日の１３時からを予定している。次回は本日いただいた提言を加味したうえで実施項目等を審議いただきたい。よろしくお願いする。

以上